KITAIBUKI

北いぶき

No.108
2021.1

11月19日、JA北いぶき女性部部員研修で各支部に分かれてマスクケースを手作りしました。
詳細は10ページをご覧ください。

新年あけまして
おめでとうございます。

代表理事組合長	篠田雅
代表理事専務	黒田洋一
常務理事	澤田浩樹
常務理事	中川幸雄
上席理事兼妹背牛地区代表理事	中谷雄二
秩父別地区代表理事	小山裕一
沼田地区代表理事	堀田勝
理事	中易徹
理事	徳本一也
理事	堀田高司
理事	板垣誠
理事	向井正浩
理事	横山昌利
理事	上村昌樹
代表監事	戸田毅
常勤監事	殿村照美
監事	畑地誉
監事	中易利則
員外監事	高田道夫
外職員一同	

年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合
代表理事組合長 篠田雅

新年明けましておめでとうございます。

組合員皆様におかれましてはご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

過ぎ去った令和二年、国内におきましては総理大臣在職最長を記録した安倍総理が健康上の理由から突然辞任をし、その後菅総理へ引き継がれた事をはじめ「東京２０２０オリンピック」の延期など色々なことがありましたが、中でも新型コロナウイルスの蔓延はすべての社会活動に負の影響を及ぼしこれまで経験したことのない日常の中での社会生活が続きました。とりわけ国内において二月以降新型コロナウイルスへの対処法としてマスク着用による飛沫への防止が求められましたが、マスクの製造と調達はほぼ全て中国からの輸入に依存していたため国内においては品薄が続きわずかな在庫品が一部の悪徳業者等による転売が横行しインターネット上や店頭で平常時の十倍以上の価格で販売され大きな混乱を招き政府が規制に乗り出したことや、医療現場ですら入手困難を極めたことは記憶に新しいところです。このことは命をつかさどる食料に置き換えて考えると現在の食料自給率三八％台（カロリーベース）がいかに危険なことか改めて感じ取ることができると思います。昨年度のマスクの品薄を経験し改めて輸出国は自国の需要や利益を満たさずして輸出はあり得ない事や、医療や食料など生命にかかわる産業は独立国として利益を追求しての成長産業との認識ではなく国民の生命と財産を守る上で国作りの礎となる重要産業との認識を国民の総意として醸成していくことが大切なことと思います。

昨年度の営農結果は基幹であります水稲については収穫後の作況指数が「一〇七」であった事を振りかえると組合員の皆様が積雪の残る二月、三月から営農で流した汗が報われた一年であったと振り返ることができると思います。また畑作物、施設園芸作物においても一部干ばつの影響を受けたものの総じて収量においては平年作以上の結果を得ることができました。このことは組合員の皆様の懸命なる日々の肥培管理と併せて大きな自然災害がなく一年を通して穏やかな気象条件に改めて感謝するところです。

一方、農産物価格については新型コロナウイルス蔓延により観光需要、インバウンド需要、外食産業の停滞などにより、どの作物においても大きく消費が冷え込み価格の低迷を招いています。とりわけ基幹でありますコメについては慢性的な消費の減少と相まって大きな持越し在庫の増加により米価の下落を招いています。今年度全国的な取り組みとして主食の面積については生産の目安を大きく減少させることにより需給環境を是正し適正価格の実現を目指します。

今年度米を取り巻く環境は需給環境を考えると厳しいですが、北いぶき農協管内においてはこれまでの取り組みにより築き上げてきた米主産地としての評価を失うことの無いよう生産の目安を遵守しつつ非主食米の備蓄米・加工米への取り組みにより水張面積の維持を目指しますので組合員皆様のさらなるご協力をお願いいたします。

農業・農協を取り巻く環境は問題が山積されていますが農協は「組合員」自らが出資をし、利用をし、経営をすることで組合員個々の経営に寄与し合わせて地域社会に貢献することを目的とする組織です。農業、農協を取り巻く環境は常に農政に大きく影響されますが国民の食と生命を守りさらに多面的機能として国土を守る農業に自信と誇りを持ち、組合員の一致団結した力を農協に傾注することにより山積する課題に立ち向かわなければならないと思いますので、今後より一層農協事業へのご支援ご協力をお願い致します。

結びに、新しい年が天候に恵まれ取り組まれる全ての作物が豊穣の出来秋となります事と合わせて新型コロナウイルスに対しワクチンや新薬の開発により一日も早く終息し平穏な日常を取り戻すこと、さらに組合員の皆様が幸せ多い一年となる事を心より御祈念致しまして年頭の挨拶と致します。

年頭のご挨拶

北海道農業協同組合中央会
会長 小野寺 俊幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業は、米の作況指数が全道「一〇六」の「良」、畑作物については収穫時期に一部地域に降雨による影響が見られたものの平年並以上の結果となり、生乳も前年の実績を超える生産となり、地域、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることが出来たと感じております。

しかしながら、昨年は、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した一年でありました。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食・中食の需要減少等の影響により、各作物の更なる需給緩和が懸念されているところです。今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が入国できないことにより、農作業の人材確保にも大きな影響が出ておりますので、北海道、全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図ってまいります。

JAグループ北海道では、昨年より道民の皆様に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者の関係のあり方を見つめなおしていただくことを目的として「AGRIACTION!HOKKAIDO（アグリアクション北海道）」と題した情報発信を北海道の支援もいただき、スタートいたしました。

「AGRIACTION!HOKKAIDO」は次の三つのテーマを伝えることを目的としております。

一、食料自給率に対する理解促進と行動変容の喚起

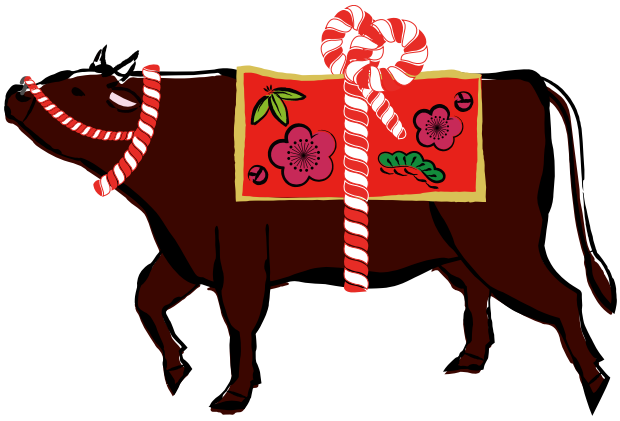
二、農業には多様な働き方があるということの周知とより多くの方が農業に携わっていただき、将来的に農業を仕事の選択肢として考えてもらうこと（本業以外に副業として農業に親しむ人々を「パラレルノーカー」と命名）

三、日頃から道産農畜産物を食している道民の皆様に感謝を伝えること

本年は第二九回JA北海道大会の実践最終年であることから、この取組みと協同の力を梃子として「農業所得の増大」「多様な担い手の確保・育成」「食と農とでつながるサポーター550万人づくり」の目標達成に向けて、実践活動を強化してまいります。

結びになりますが、本年は辛丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢（耐える）」、「これから発展する前触れ」というような年になると伝えられております。

この謂われにあやかり、新型コロナウイルスの一日も早い克服と皆様のご健勝、本年が豊穣の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

空知農業改良普及センター
北空知支所　支所長
五十嵐　正彦

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和二年を振り返りますと、春先は気温が高く、雪が少なく消雪日が平年より十八日早く耕起作業・は種作業も順調に進みました。苗の生育も順調で、移植作業は平年より二日早く、多くのほ場で育苗日数が短い健苗が移植されました。

移植後も天候に恵まれ、活着は良好、分げつの発生も旺盛でしたが、六月中旬から低温日照不足が続き、生育が停滞したことから、幼穂形成期は一日早い平年並になりました。

出穂時期から登熟期間も概ね好天に恵まれたため、不稔も少なく登熟は順調に進み、成熟期は二日早く、収穫作業も平年より二日早く終了しました。

㎡籾数は平年並でしたが、粒重がやや重く、収量は平年よりも多くなりました。

また、今年は台風をはじめとする自然災害もなく北海道農政事務所公表では、北空知は収量一〇a当たり六〇六kgと平年より多く、作況指数は「一〇七」の良でした。品質面でも整粒歩合が高く、蛋白質含有率は全体的に低くなっています。

低タンパク米出荷率は十一月二十六日現在三九．六％と低タンパク米が多く出荷されています。

一方、新型コロナウイルスの影響で、米の消費は減少し、道産米の価格は「ゆめぴりか」が昨年並み、他の「ななつぼし」等は低下傾向で、概算金も昨年より一俵三〇〇円減となっています。

秋まき小麦は、は種が順調でその後の生育も良く越冬前の生育は良好でした。越冬後も茎数が多く、五～六月が高温であったことから生育は旺盛で、草丈と茎数は平年を上回りました。しかし、六月下旬からの日照が少なく赤さび病などの障害が見られたことから細麦になり、収量はあるものの製品歩留まりが低下しました。

大豆は、五月下旬の降雨が多くは種作業はやや遅れましたが、出芽は平年並になりました。出芽後の生育は一部でばらつきがみられました。草丈は低いものの、本葉数と莢数は平年並になり、収量は平年よりやや多くなりました。

ソバは、出芽は順調でした。その後の生育も順調で、茎長は平年を上回って推移しました。しかし開花が長期間にわたったため、成熟が遅れるほ場もありました。収量は概ね平年並を確保しました。

花きの主力品目である「スターチス・シヌアータ」は、六月の低温・日照不足の影響により六促成作型の生育・開花は遅れましたが、主力の八月切り作型の生育・出荷は順調に進みました。品質、収量は病害によるほ場ロスや生理障害の発生が少なく良好で、栽培面積はやや減少しましたが出荷量は前年並みを確保しました。販売金額は、単価が高く前年を上回りました。

農業をとりまく環境は、新型コロナウイルスによる国内消費動向の減退、日米貿易協定や、ＴＰＰ11、ＥＰＡ、種苗法改正などをはじめ、農業情報通信技術など、めまぐるしく農業構造が変化しています。また地域では高齢化に伴う後継者や、労働力不足、熟練農業者の技術伝承などが大きな問題が山積しています。

普及センターでは、地域農業を支える多様な担い手育成等の積極的な支援、多様化する食市場へ対応、高付加価値化を創造する農業・農村づくりを基本課題に、関係機関の皆様と連携しながら、現場の声に耳を傾け、知恵を出しあい、地域農業の維持・発展を目指して活動を進めて参ります。

本年が皆様にとって実り多き年となりますよう、ご健勝ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合
青年部　部長
佐藤宏樹

新年明けましておめでとうございます。

平素より組合員の皆様には私たち青年部に格段のご理解を頂いておりますことを心よりお礼申し上げます。

また、三行政、各関係機関、各関係団体の皆様におかれましても、多大なるご指導、ご協力を頂いておりますことも重ねてお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、今現在も落ち着くことなく猛威を振るい続ける新型コロナウイルスの影響により、国民が心待ちにしていた「東京２０２０オリンピック」が延期となりました。農業の影響については、外食業界で影響が長期化していることから、市中価格の低下など全体需要への影響が大きく、コロナ禍での農業現場の人手不足など、非常に多くの課題が残る年となりました。

国際情勢におきましては、アメリカ大統領選が泥沼化し、安倍前総理とトランプ大統領が交わした貿易協定がこの先どうなるかわからず、このことに対しても今後の動向を注視し、各関係機関と連携しながら声を上げ、訴えかけていかなければならないと考えます。

さて、昨年の営農に目を向けますと、基幹作物である水稲では、初夏から登熟期にかけて大きな被害もなく天候に恵まれ、残暑の干ばつにより白未熟粒の多発も心配されましたが、例年に比べタンパク値も低めに推移し、作況指数「一〇七」と豊作基調で喜ばしい結果となりました。

しかし、米離れに続き、コロナ禍による需要減少で、次年度の米価下落が懸念されることから、ホクレンやＪＡなどの各関係機関と連携しながらその動向に注視していく必要があると考えます。また、それと同時に毎年のように各地で起こる大雨等の自然災害にも対応できる生産技術を磨き、安定的に安心・安全で高品質な農畜産物を全道・全国に提供していく責務があり、営農に日々努力を重ねていかなければなりません。

昨年の青年部活動においては、「絆を深め、協同の輪を広げよう」という活動目標を掲げ、事業を展開する予定ではありましたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し、慎重審議を重ねた結果、全事業を中止にするという結論に至りました。北いぶき青年部は事業を実施するにあたり、毎回一〇〇名近くの盟友に参加を頂いております。そこで盟友、またはそのご家族の安心と安全を最優先に考え、事業を中止とさせて頂きました。

ただ、下を向いたまま進むことはできません。我々が今すべきことは、盟友一人一人が地域の担い手であることを自覚し、仲間を作り、異常気象や予想のつかない農業情勢にも負けず、時代に合わせた事業展開を図ることが重要と考えます。そして地域社会、地域農業へ貢献できるような青年部組織になっていきたいと考えます。

本年も各関係機関、各関係団体の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げると共に、組合員の皆様、青年部盟友の皆様のますますのご健勝でのご活躍とご多幸をご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせて頂きます。

年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合
女性部　部長
岡　田　久　恵

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様お揃いで新春を迎えられたことと存じ心より慶び申しあげます。

また日頃より、女性部活動にご理解とご協力をいただいておりますこと、心より感謝いたしております。

昨年を振り返りますと、春より順調な雪どけで春作業も種まきも進みましたが、終わったところでの低温で品種によっては、発芽不足になったところもありました。その後は天候の偏りはありましたが、前年を上回る喜ばしい作柄、豊作の秋になった事に感謝しています。台風も北海道に於いて、通過がありませんでしたが令和二年七月豪雨がありました。また、大切な土地と命が失われた地区もあり、心よりお見舞い申し上げますとともに、私たちも油断することなく日々を過ごしていこうと思います。

また、世界中に広まった新型コロナウイルスの感染と拡大がありました。医療関係、保健所や福祉関係などの方々、日々大変な思いをされている事と察します。感謝申し上げますとともに亡くなられた方々にご冥福をお祈り申し上げます。

私たちの活動にも大きな影を落としていきました。六月の部員研修、全道での各種研修や大会が次々と中止となりました。女性部役員となり毎年行われていた事業が出来なかった事や他の皆さんといろいろな交流の機会を持てなかった事など、残念な思いがありましたが、空知女性部協議会より声掛けをいただきましたマスクケース作りがありました。各支部十一月十九日に会員の皆さんにも参加協力をお願いして、ひと針ひと針縫い上げ、新型コロナウイルス感染の一日も早い終息を願い、各町社会福祉協議会へ寄贈する事が出来ました。皆様ありがとうございました。

新型コロナウイルスにより外出の制限などで、活動に無関心、面倒になってしまわれないか、これまで諸先輩方が築いてきた繋がりがほどけていくことはないだろうか、と考えもしました。目に見えぬウイルスで我慢の日々、制約のある日々が続くと思われます。こんな時だからこそ、人への思いやりと優しさと楽しさのある活動があり、仲間づくりが続けられたらと思います。

そして、次世代の人たちにも参加していただけるように皆さんと力を合わせてまいります。

これからも組合員の皆様、各関係機関の方々のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆様におかれましては、健康で幸多く過ごされますよう心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

絆 ～ THE YOUTH FACE ～

中谷　省吾さん

妹背牛・妹背牛中央農事組合

作付品目
水稲、小麦

職業として農業を選択した理由

子どもの頃から外に出て遊ぶのが好きで、その延長で中学生頃から農作業の手伝いをしていました。その時に父親が農業機械で作業しているのを見て、とても興味を持ち、楽しそう・かっこいいと思っていました。

就農するきっかけとなったのは、兄が農業と関係のない大学に行き、僕は農業科の高校に進学したことで、自分が農業を継ぐのだろうと思いました。その後、農業科の短大に進学し、農業を継ぐことを決意しました。

今、農業を選択して、自分が一生懸命育てた作物を誰かに食べてもらってると思うことでやりがいを感じ、とても魅力的な職業だと思っています。

今後の営農について

私が農業を継いだ直後は、親の言うことをただ、やっていれば良いと思っていましたが、今は、自分から積極的に動くことを心掛けています。

経営については土地をあまり増やさずに、収量の増加、コストの削減、農業機械の整備などに力を入れていきたいと思っています。

また、妹背牛町のお米や地域活動をより沢山の人に知ってもらいたいと思うので、青年部で地域を盛り上げられる活動を少しでも多くやって行きたいと思います。

青年部活動について

これまでの青年部活動で、協力することの大切さを得られたと思います。「焼肉祭り」のような大きな行事は盟友全員で協力しなければ、成功しないと思っています。

今後も青年部盟友で協力し、青年部活動をこの先も残し続けていきたいと思います。

青年部活動で楽しみにしていることは、地域活動で子供たちの楽しそうな笑顔を見ることで、やって良かったなと心から思います。

農業を共に育む家族について

両親には今後もまだまだ頑張ってほしいと思っていますが、私も早く一人前になり少しでも両親に楽させられるよう頑張りたいです。

令和元年　もせうし夏祭り

令和2年　第4回スノフェス

水稲の収穫でコンバインを操縦する省吾さん

農事組合別懇談会・女性部との懇談会

十二月一日から二日にかけて各支所にて、各地区各農事組合・女性部を対象とした冬季懇談会が開催されました。

懇談会では、令和二年産農畜産物販売支払高見込み、うるち米を巡る情勢、令和二年産米・小麦・そばの精算について、花卉蔬菜販売状況、女性部加入推進、営業時間の見直し、第七次地域農業振興計画の概要等、多くの項目について報告・説明させていただきました。

出席された皆様からは貴重なご意見やご質問、ご要望を頂きました。これらを基に、今後のＪＡ事業がより良くなるよう役職員一同努めてまいります。

妹背牛地区

沼田地区・西部

女性部

秩父別地区・北新

第四回　農事組合長会議

沼田地区

十一月三十日、本所三階大ホールにて令和二年度第四回農事組合長会議を開催しました。

ＪＡ篠田組合長は、今年度のカントリーでの米集荷量が六二万俵を超えたことに感謝の言葉を述べられましたが、外食産業の情勢から需給のバランスが悪く米価が下がってしまっている状況等について話されました。

続いて、普及センターより令和二年度の農作物の生育状況を振りかえり、気象経過とともにＪＡ管内で豊作となった要因についてプロジェクターを使って解説されました。

その後、ＪＡより十二月一日、二日に控えた農事別組合員・女性部との懇談会について、資料を基に農産物販売状況、令和三年度営農計画書、第七次地域農業振興計画等について説明させていただきました。

秩父別地区

普及センターより
スクリーンを使用した説明を受けました

妹背牛地区

令和二年度 農事組合長視察研修

十一月十日から十一日にかけ、苫小牧方面へ視察研修を行いました。

初日は、株式会社Jファーム苫小牧を視察。高度な栽培環境制御システムと天然エネルギーを利用した省エネ環境で、ミニトマトとベビーリーフを栽培しており、特にミニトマトについては、糖度センサー付きの選果機を用いて糖度別に出荷をしていました。

翌日は、日本ニューホランド株式会社苫小牧デポを視察しました。海外工場で生産された日本ニューホランド株式会社製品のトラクターやコンバイン等の農業機械が陸揚げされる拠点となっており大型のショールームのようでした。その他、自動操舵など最先端技術についても説明していただきました。

日本ニューホランド株式会社
苫小牧デポで展示されている農業機械を視察

株式会社Ｊファーム苫小牧で最先端の
栽培環境制御システムを使用したハウスを視察

JA北いぶき女性部 部員研修 マスクケース作り

ＪＡ北いぶき女性部（岡田久恵部長）は十一月十九日、部員研修を開催し七五名の部員が参加しました。

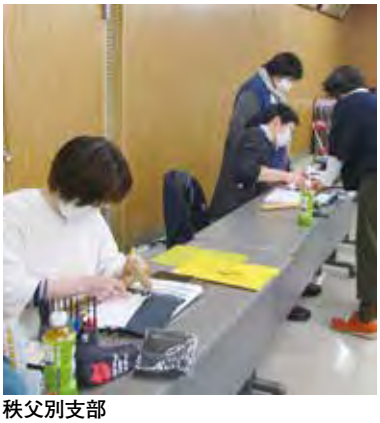
例年、三支部合同で行っている部員研修ですが、コロナ禍ということで今年度は三支部それぞれに分かれて行いました。部員研修の内容は、ＪＡ空知女性協議会からの提案でマスクケースを作成することになりました。

部員同士でアドバイスをしながら、さまざまな色の合皮とカラフルな刺繍糸を使い、一枚一枚丁寧に心を込めて約一二五枚のマスクケースを作成しました。

後日、女性部役員が代表し、秩父別支部は社会福祉法人幸鐘会へ、妹背牛支部、沼田支部は各町の社会福祉協議会へお渡しさせていただきました。それぞれの施設から感謝と「頂いたマスクケースは必要としている皆様へしっかりお渡しさせていただきます」とのお言葉を頂きました。

例年とは異なる形での開催となりましたが、来年度は三支部揃っての活動ができるよう祈るばかりです。

妹背牛支部



秩父別支部

沼田支部

理事会報告

第十回理事会〈十一月二十七日付〉

【報告事項】

管理本部

○当面における農協行事予定について
○固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について
○組合員の加入・脱退等の申し出について
○疑わしい取引の届け出状況について
○永年勤続職員表彰対象者について

金融共済事業本部

○長期資金の貸出し状況について
○令和二年度ＪＡ共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について
○「クミカン収支見込み」の送付について

営農販売事業本部

○うるち米をめぐる情勢について
○令和二年産　米施設検査見込数量について
○令和二年産　農畜産物販売支払高見込みについて
○令和二年産　中間米・屑米精算について
○令和二年産　施設調製大豆の仮渡金について
○令和二年産　米集荷奨励対策金の支払について
○令和三年営農計画書に係る主食用米販売収入計画について
○令和二年産　花卉・蔬菜の取扱実績について
○「経営継続補助金（二次）」の申請結果について

購買施設事業本部

○購買施設事業実績検討表（十月末）について

【決議事項】

議案第一号
令和二年度事業収支見込（十月末基準）及び、定時給与（年末手当）の支給について

議案第二号
出資金の譲渡について

議案第三号
信用限度超過者に対する貸付けの承認について

議案第四号
理事に対する利益相反取引の承認について

【協議事項】

○信用限度八〇％を超える組合員への貸付けについて
○令和三年～五年度の農畜産物販売支払高計画の米単価見直しについて
○令和三年営農計画書　営農販売関係収益・費用の単価について
○「第七次地域農業振興計画の概要」、農協中期経営計画の策定に向けて
○令和二年度年末組合員懇談会の開催に係る日程及び提出議案等について

ＪＡ北いぶき 永年勤続職員表彰

十一月二十日、ＪＡ北いぶきは、令和二年に勤続二十年を迎えた職員に永年勤続表彰を行い、ＪＡ篠田組合長より記念品と感謝状の贈呈が行われました。

今回表彰された職員は次の通りです。

【勤続二十年】

岡部　大地
（米穀農産事業部米穀農産課長）

ぬまわーく2020に参加しました

十一月十七日、ＪＡ北いぶきは、ぬまわーく２０２０に沼田町の企業として参加。当初は、ほろしん温泉を会場に北空知・滝川地区の高校が参加する説明会の予定でしたが、残念ながら、今回は沼田町役場とクラーク記念国際高校を繋いだオンライン形式でのみの開催となりました。

生徒のみなさんには、ＪＡ北いぶきの概要とともに、ＪＡ若手職員から実際の業務内容や職場の雰囲気などを紹介させていただきました。

JAグループ通信　JA北海道中央会

北海道教育委員会、北海道コンサドーレ札幌、北海道教育大学、JAグループ北海道の4者は、北海道の将来を担う子供たちが未来に向かってたくましく成長していくことを支援するため、子ども食堂の支援を行っております。しかし、コロナ禍において子どもたちが集まって食事をとることができないため、支援活動ができない状況が続いております。そこで、コロナ禍においても支援することを検討した結果、JAグループ北海道において、AGRIACTION! HOKKAIDOの取り組みの一環として、食育動画を配信することといたしました。動画は3タイプあります。JAグループ北海道のホームページで公開しておりますので、是非ご視聴ください。また、お子様が動画を視聴していただき、保護者の方がアンケートに答えていただくと抽選で文房具のプレゼントがありますので、是非、こちらへの応募もお待ちしております！

①小学校低学年用《北海道の農業》　②小学校高学年用《食料自給率》　③中高生用《食料自給率》　●QRコード　●URL

http://ja-dosanko.jp/supporter/movie_syokuiku/

JA北海道信連

北海道信連では、環境保全や地域美化の観点から、「NPO法人 北海道市民環境ネットワーク」が運営する「ラブアース･クリーンアップ運動 in北海道」に参加し、事務所周辺の清掃活動を行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に留意したうえで、札幌では10月に市内の職員住宅周辺で実施いたしました。全道各支所においても、状況を見極めながら順次活動を実施しています。

JA共済連北海道

JA共済では、『自動車共済お見積りキャンペーン』を実施しております。インターネットに開設したキャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で総計12,000名様に家電などの素敵な賞品が当たります。キャンペーンは令和3年3月31日(水)までです。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお待ちしております！

JA共済ホームページアドレス
https://www.ja-kyosai.or.jp/

ホクレン

ホクレンは、会員JA・生産者向けに発行している営農情報誌「アグリポート」と連動した動画情報などを提供する「アグリポートチャンネル」を「YouTube」に開設しました。URLは以下の通りで、新型コロナウイルスの影響により今年は現地開催を見送った「ホクレンフィールドデー」のオンライン版動画などもアップしています。

https://www.youtube.com/channel/UC4Dt4CyXyMsKSVtofG4dprw

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。秋号においてはプレゼント付アンケートのコーナーもございます。

是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧いただきアンケートへのご協力をお願い致します。

JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

女性部妹背牛支部 部員研修
生花で壁飾り講習会

十一月五日、女性部妹背牛支部（田村かなえ支部長）は妹背牛支所三階大ホールにて生花を使用した壁飾り講習会を開催しました。

旭川市にある（有）四季彩より曽我部幸裕氏を講師としてお招きし、生花を使用した壁飾り作りを教えていただきました。木の枝を自由に使いタペストリーのようにカットした生花を入れ、デザイン等自分好みに装飾し作業を進めていきました。

講師の説明を聞きながら皆さん集中して作業しながらも周りの方との談笑も楽しんでいる様子でした。みなさん個性あふれる綺麗な作品ばかりとなりました。

他にも、生花のコップやペットボトルでの飾り方など教えていただき、出来上がりをみて「お家のどこへ飾ろう」と、大変盛会のうちに講習会が終了しました。

好みの生花を組み合わせます

真っ白な枝が飾りの土台となります

女性部妹背牛支部 役員一泊研修

女性部妹背牛支部（田村かなえ支部長）は、十一月十三日から知床方面で役員一泊研修を行いました。

初日は、ＪＡサロマかぼちゃファレーク工場を見学しました。今までに見たことのない程数多くのかぼちゃがコンテナに積まれており、大勢の作業員が素早く丁寧な皮剥き作業をしていました。

製造までの工程を隅々まで見学させていただき、調味料を一切加えていない煮詰めたかぼちゃを試食させていただきましたが、砂糖を入れているのではないかと疑う程甘みを感じました。ＪＡ北いぶき管内では見ることができない光景に刺激を受ける工場見学となりました。その後、北見ハッカ記念館に立ち寄り、かつての北見薄荷工場を見学し、斜里町のホテルに宿泊しました。

二日目は、道中の道の駅の直売所にてそれぞれの特産品の野菜を見てからフラノマルシェに向かいそれぞれ自由行動を楽しみ、今回の役員研修が終了しました。

かぼちゃ１つずつ手作業で皮をむいていきます

女性部妹背牛支部フレッシュミズ 冬季レクリエーション

ＪＡ北いぶき女性部妹背牛支部フレッシュミズ会（渡辺理恵会長）は十一月十二日に会員五名と体験入会の藤坂愛さんが参加し冬期レクリエーションを行いました。

講師に旭川市の水上さゆり氏を招き、妹背牛町総合体育館にて美ボディエクササイズを行いました。皆さん息を切らしながら、新型コロナウイルスにより自粛する中で久しぶりに運動を行いました。翌日の筋肉痛に怯えながらでしたが、終始笑顔で大変盛り上がり、楽しまれている様子でした。

その後、昼食を食べたあとは談笑を楽しみ、親睦を深め充実した一日となりました。

昨年に引き続き女性部妹背牛支部フレッシュミズ会では体験入会を実施し、勧誘活動を積極的に行い、会員の募集に努めております。

小さなお子さんも一緒に参加できます

女性部秩父別支部フレッシュミズ スワッグ作り講習会

十一月二十五日女性部秩父別支部フレッシュミズ（藤岡幸恵会長）は、スワッグ作り講習会を開催しまし、深川市のフラワーサロン「ラリューヌ」より講師をお招きしました。

スワッグとは、花や葉を束ねて壁にかける飾りのことで、会員の間でやってみたいとの声が上がり、今回はプリザーブドフラワーを使いクリスマスバージョンのスワッグを作りました。

まず、花材を束ねるにあたって長さを調節するため花に付いているワイヤー部分をテープで巻き、あとは自分好みに材料を組み合わせて最後にワイヤーで一括りにしリボンをつけて完成です。細かい作業が多く、講師の方が一人一人丁寧に説明して下さりみなさん納得のいく可愛らしいスワッグが完成しました。

クリスマスらしい色合いの作品が出来ていきます

女性部沼田支部フレッシュミズ パン作り講習会

十一月十二日、女性部沼田支部フレッシュミズ（藤村真美会長）の部員研修が開催され、「パン作り講習会」に十名の会員が参加しました。元フレッシュミズの会員の中村真澄さんを講師にお招きし、手ごねのちぎりパンの作り方の他、塩パンやピザなど様々なパンの作り方を教えていただきました。

作り方を丁寧に記載してある中村さん手作りのレシピをもとに行い、色付けやデコレーションをした個性あふれるちぎりパンができました。作業工程もシンプルで家族に作ってあげようといった声も聞こえてきました。

昼食にはパン生地で作ったピザの他、自家製の野菜で作ったピクルスやサラダなど様々な料理を頂きました。久しぶりのフレッシュミズの活動ということで終始笑顔で会話を弾ませ、有意義な活動となりました。

カラフルでかわいらしいパンもあります

講師として参加された中村真澄さん（沼田地区・東部東）

青年部沼田支部 沼田小学校でお米を寄贈しました

例年十一月に沼田小学校にて、うどん作りや餅つきを行っていた食育事業でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、今年度の青年部沼田支部ではコロナ禍でも児童たちに何かできないかと協議した結果、十一月九日に沼田小学校全児童・職員一一九名に一袋三合の沼田町産新米「ゆめぴりか」を配布させていただきました。併せて、お米の研ぎ方の動画を青年部沼田支部役員にて作成し、プレゼントいたしました。

コロナ禍により食育事業について、例年とは違う形になりましたが、児童たちに沼田町のお米について触れてもらうことができたと思っております。

今後も青年部沼田支部では、児童たちと交流しながら、沼田町の農業に少しでも興味を持っていただけるような事業を取り組みたいと考えております。

３合ずつ小分けに包装

写真左　林徳彰支部長

JA共済　JAの自動車共済 フリーダイヤル安心サービスのご案内

ご契約の自動車が事故や故障に見舞われたときは

ご契約のJA（業務時間内）もしくは

フリーダイヤル安心サービス

（24時間 365日対応）

JA共済事故受付センター	JA共済サポートセンター
事故等の場合には　0120-258-931（ジコは クミアイ）	レッカー搬送や故障時の応急対応が必要な場合には　0120-063-931（レッカー・ロードサービスは クミアイ）

フリーダイヤル　携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

電話料金は無料です。 公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

安心の5つのサービス

●レッカーサービス　●ロードサービス　●夜間休日現場急行サービス

●夜間休日初期対応サービス　●休日契約者面談サービス

24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。

もし　事故が起きたら・・・

なにより119番　まず、被害者の保護を。

応急手当、救急車の手配を行ってください。軽いケガや自覚症状のない場合でも、医師に診断をしてもらうようにしましょう。事故車をそのままにしておくと、交通渋滞や後続事故の原因となります。すぐに安全な場所へ避難しましょう。

かならず110番　警察に必ず事故通報を。

安全を確保したら、警察への届出と相手方の確認を行いましょう。共済金の請求をするときには、交通事故証明書や医師の診断書などが必要です。そのためにもすみやかな届出が大切です。

■警察には次の事項を連絡します。

①事故発生の日時と場所。

②負傷者の人数とその程度。

③壊したものとその程度

④事故に対して講じた措置。

わすれずJAへ　事故通知をJAへ。

警察への連絡後、JAへ詳しい通知、および相談をします。できるだけ現場での状況が的確にわかるよう相手方、目撃者からの確認とメモを忘れずに。

■JAへも次の要点をご連絡ください。

①事故状況・日時・場所。

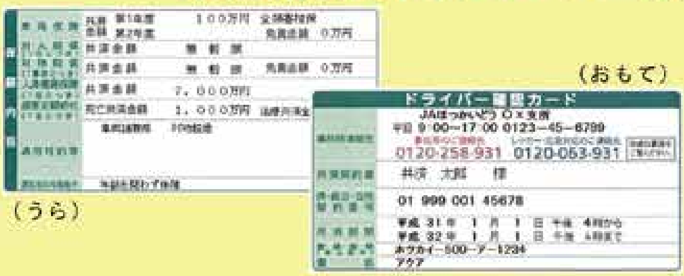
②相手方の住所・氏名・連絡先・傷害の程度・病院名・車両番号。

③目撃者の住所・氏名。

④届出警察署と担当官。

「ドライバー確認カード」を携帯しましょう！

自動車共済証書の下に「ドライバー確認カード」がついています。



「ドライバー確認カード」には、事故が起こったときの連絡先や契約の情報が記載されています。

車検証とともに保存なさるか、あるいは、免許証とともにお持ちになってください。

事故にあった！　故障して動かない！

こちらにお電話ください！

24時間 365日　事故受付とアドバイス

事故等の場合には
JA共済事故受付センター　0120-258-931（リコはクミアイ）

レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には
JA共済サポートセンター　0120-063-931（レッカーはクミアイ）

POWER UP! レッカーサービス

現場から100km以内のけん引が無料！

事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。

ロードサービス

30分程度で対応可能な応急対応が無料！

故障・トラブルにより自力走行不能となった場合に、対応業者が現場へ急行し、30分程度で対応可能なお車の応急対応を行います。

❗事前にJAまたはJA共済サポートセンター（JA共済事故受付センター）に要請された場合に本サービスの対象となります。（**ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります**）

※トラブルの状況や手配内容によっては、ご利用者さまに費用のご負担が発生する場合があります。
※ロードサービスについて、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービスご利用者さまのご負担になります。
※JAF会員であるご利用者さまについては、ご利用者さまのご了承のもと、JA共済事故受付センターまたはJA共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのけん引距離については現場から115キロまでのけん引に要する費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について5，000円（税込）を限度にサービス対象範囲とします。

夜間休日 現場急行サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。

※本サービス受付時間は、平日：0時～8時、17時～24時、土日・祝日：終日です。
※事故現場からお電話いただき、ご利用者さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。
※原則として、対応員の**出動拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。**ただし、高速道路上、離島、山間部など一部の場所は本サービスの対象外となります。
※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

夜間休日 初期対応サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応（事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等）を行います。

※本サービスの受付時間は、平日：17時～21時（対応は22時まで）、土日・祝日：9時～21時（対応は22時まで）です。
※**対人賠償事故**（人身傷害事故を含みます）、**対物賠償事故**、**車両無過失事故特約のついた車両単独事故**が対象となります。
※ご契約内容が確認できない場合、既にご加入先のJAの損害調査サービス担当者が対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

休日 契約者面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し、事故に関するご質問・ご相談に親身にお応えします。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日：17時～24時、土曜：終日、日曜・祝日：0時～17時です。
※**対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象**となります。
※JA共済より、業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

■各種サービス共通の注意事項（サービスのご利用にあたっては所定の条件があります。）
※交通事情、気象状況等により、対応員の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。
※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のしおり・約款」等をご参照ください。

お問い合せ先　JA北いぶき
本所　共済課　0164-33-2011
妹背牛支所　貯金共済課　0164-32-2451
沼田支所　貯金共済課　0164-35-2221
JA JA共済

20019090068

JA共済
特定重度疾病共済「身近なリスクにそなエール」
資料請求キャンペーン
第4期
身近なリスクにそなエール
資料請求でもれなくプレゼント！
浜辺美波
有村架純
オリジナルA5ノート
資料請求はこちら
応募期間：2020年12月11日(金)～2021年3月10日(水)
さらに！
身近なリスクにそなエール
&
働くわたしのささエール
でWチャンス！
特定重度疾病共済「身近なリスクにそなエール」＆生活障害共済「働くわたしのささエール」
セットで資料請求いただいた方の中から
抽選で10名様に当たる!!
Yogibo Midi
(ヨギボーミディ) オレンジ
おうち時間を快適に♪
完全に体にフィットする不思議なビーズソファ。一人用のチェアや二人掛けのソファにもなる、カップルや一人暮らしの方にもおすすめのサイズです。使わないときは立てておけば、場所も取りません。
※色は選べません。
※2020年12月11日(金)～2021年3月10日(水)の期間中、当キャンペーン応募権利は1家族1回のみとなりますのでご了承ください。
※抽選賞品への応募は、特定重度疾病共済「身近なリスクにそなエール」と生活障害共済「働くわたしのささエール」を同時に資料請求いただいた方に限ります。
JA共済・カスミナミの最新情報をお届け！
公式LINEアカウント
公式Twitterアカウント
JA共済特設サイトも要チェック！
テレビCM
好評公開中！
Web限定ムービー
カスミナミ
好評公開中！
ここからチェック！
身近な生活習慣病のリスクに。
身近なリスクにそなエール
20481050329

11月9日、自動車安全運転センターより
JA職員が参加したチャレンジ・セーフティラリーへの
感謝状が手渡されました

PHOTOだより

11月3日より
大豆の集荷が
行われました

11月25日、
秩父別本所にて
消防訓練を行いました

Contents

●年頭のご挨拶　北いぶき農業協同組合　代表理事組合長　篠田　雅 ―― 2
●年頭のご挨拶　北海道農業協同組合中央会　会長　小野寺俊幸 ―― 3
●年頭のご挨拶　空知農業改良普及センター　北空知支所　支所長　五十嵐正彦 ―― 4
●年頭のご挨拶　北いぶき農業協同組合　青年部　部長　佐藤宏樹 ―― 5
●年頭のご挨拶　北いぶき農業協同組合　女性部　部長　岡田久恵 ―― 6
●絆　～ THE YOUTH FACE ～ ―― 7
●農事組合別懇談会・女性部との懇談会 ―― 8
●第４回　農事組合長会議 ―― 9
●令和２年度　農事組合長視察研修 ―― 10
●JA北いぶき女性部　部員研修　マスクケース作り ―― 10
●理事会報告 ―― 11
●JA北いぶき　永年勤続職員表彰 ―― 11
●ぬまわーく2020に参加しました ―― 11
●JAグループ通信 ―― 12
●女性部妹背牛支部　部員研修　生花で壁飾り講習会 ―― 13
●女性部妹背牛支部　役員一泊研修 ―― 13
●女性部妹背牛支部フレッシュミズ　冬季レクリエーション ―― 14
●女性部秩父別支部フレッシュミズ　スワッグ作り講習会 ―― 14
●女性部沼田支部フレッシュミズ　パン作り講習会 ―― 15
●青年部沼田支部　沼田小学校でお米を寄贈しました ―― 15
●JAの自動車共済　フリーダイヤル安心サービスのご案内 ―― 16・17
●JA共済　資料請求キャンペーン ―― 18
●PHOTOだより ―― 19
●年末・年始の営業時間について ―― 20

発行日 令和2年12月18日 発行元 北いぶき農業協同組合 北海道雨竜郡秩父別町1298番地の8 編集 管理本部 TEL 0164-33-2011 FAX 0164-33-3311 ホームページアドレス http://www.ja-kitaibuki.or.jp/

●年末・年始の営業時間について●

部門 / 月日	事務所（融資経済課窓口含む） 営農販売事務所（秩父別）	生産資材店舗 農機車輌店舗	貯金共済店舗	ATM		給油所（セルフスタンド）		
				本所（秩父別）	支所（妹背牛・沼田）	秩父別	妹背牛	沼田
12/29（火）	8:45～17:00（仕事納め）	9:00～16:30（仕事納め）	9:00～16:00	9:00～18:00	9:00～18:00	7:30～19:00	8:00～18:00	7:30～18:00
12/30（水）	休業	休業	9:00～16:00（仕事納め）	9:00～18:00	9:00～18:00	7:30～19:00	8:00～18:00	7:30～18:00
12/31（木）	休業	休業	休業	休業	休業	7:30～**15:00**	8:00～**15:00**	7:30～**15:00**
1/1（金・祝）	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業
1/2（土）	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業
1/3（日）	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業
1/4（月）	休業	休業	9:00～**15:00**	9:00～**17:00**	9:00～**17:00**	7:30～19:00	8:00～18:00	7:30～18:00
1/5（火）	休業	休業	9:00～**15:00**	9:00～**17:00**	9:00～**17:00**	7:30～19:00	8:00～18:00	7:30～18:00
1/6（水）	8:45～**15:00**	9:00～**15:00**	9:00～**15:00**	9:00～**17:00**	9:00～**17:00**	7:30～**15:00**	8:00～**15:00**	7:30～**15:00**
1/7（木）	8:45～17:00	9:00～16:30	9:00～16:00	9:00～18:00	9:00～18:00	7:30～19:00	8:00～18:00	7:30～18:00

㈱まちづくりぬまた	12月31日 1月1日・2日・3日 1月4日以降	8:30～17:00 休業 8:30～17:30 （土・日・祝日 8:30～17:00）	エーコープ秩父別店	12月28日・29日・30日 12月31日 1月1日・2日 1月3日 1月4日以降	9:00～19:00 9:00～18:00 休業 10:00～18:00 10:00～19:00
ダ・マルシェ沼田店	12月31日 1月1日・2日 1月3日以降	9:00～17:00 休業 9:00～19:00			

※広報誌に掲載された写真及び記事については、JA北いぶきのホームページにて使用させていただく場合がありますので、ご了承願います。